

第14回



Kasugai City Philharmonic Orchestra

春日井市交響楽団 定期演奏会



photo:篠山紀信

ヴァイオリン独奏
前橋 汀子



指揮
吉住 典洋



管弦楽 春日井市交響楽団

スメタナ
メンデルスゾーン
ベートーヴェン

売られた花嫁
ヴァイオリン協奏曲
交響曲第6番 へ長調 「田園」

平成17年7月17日(日)

15時開演(14時開場)

春日井市民会館

入場料: 1,000円(全自由席)

入場券: 5月18日(水)より 市民会館、文化フォーラム春日井文化情報プラザ、市役所情報コーナー味美・高蔵寺・南部・西部ふれあいセンター、坂下公民館、清水屋案内所、サンマルシェ案内所、ルネック7階管理事務所で販売

問い合わせ 春日井市交響楽団事務局 (0568) 51-1111 (代) 春日井市文化課 (0568) 85-6079
主催:春日井市交響楽団 共催:春日井市 後援:愛知県教育委員会、(財)かすがい市民文化財団、春日井市教育委員会、中日新聞社

Greating

春日井市交響楽団団長 花村 浩克

前橋汀子さんをお招きしてメンデルスゾーンの「ヴァイオリン協奏曲」を演奏するために、私たちは、それぞれ齋戒沐浴してから練習に入ります。いつも以上に、清らかで、美しく、充実した音で、ヴァイオリンの女王である前橋さんのほつらつとして威厳のある音楽に従っていきたくと思っています。昨年は、私たちが神さまのように尊敬しているウイーン・フィルのライナー・キュッヒルさんとの共演が実現しました。この貴重な経験が、今回の前橋さんとの演奏にも充分活かされて、昨年以上の高い評価が得られますよう張り切っています。スメタナの「売られた花嫁」序曲とベートーヴェンの「田園交響曲」を含めて、指揮者の吉住典洋先生のご指導で、今年も「名曲の名演奏」が実現することに自信を深めています。みなさまがこの聴き応えのある春日井市交響楽団第14回定期演奏会に、ぜひ、おそろいでお出かけ下さいますのをお待ちしています。

春日井市交響楽団 (オーケストラ)

市民オーケである春日井市交響楽団は、ベートーヴェンの「第九交響曲」の演奏会を春日井でも開きたいという市民の要請から生まれました。それを受けて、「市民が演奏し・市民が聴く、春日井市民のオーケストラ」として、市内の音楽愛好家を中心に、1990年(平成2年)11月に創立されました。愛称「カポ」(KAPO)は英字名称「KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA」の頭文字をとったもので、イタリア語の「カポ」(capo 頭・先頭に立つ者)の思いもあります。毎年、7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、数多くのオーケストラ活動を行っています。団員は、会社員・公務員・教員・医師・主婦・学生・自営業者などからなる60名。私たちにあって最大の喜びは、一人でも多くみなさまに演奏会においていただき、クラシック音楽が好きになっていただくことです。そのために、「春日井で名曲の名演奏を」と心がけています。また、「春日井の開かれた音楽の窓」となって国の内外の最高の音楽家との共演にも努めています。これからも、さらに、市民のみなさまに親しまれ、愛されるカポとして、市民音楽活動をつづけて参ります。温かいご支援をお願いいたします。



photo:藤山紀信

前橋 汀子 (ヴァイオリン) Violin Teiko Maehashi

5歳から小野アンナにヴァイオリンを学び、その後、斎藤秀雄、ジャンヌ・イスナールに師事。17歳で、旧ソ連国立レニングラード音楽院創立100年記念の一環として、日本人初の留学生に選ばれ、ミハイル・ヴァイマンのもとで3年間学んだ。

その後、ニューヨーク・ジュリアード音楽院でロバート・マン、ドロシー・ディレイ等の指導を受け、さらにスイスでヨーゼフ・シゲッティ、ナタン・ミルシュテインの薫陶を受けた。レオポルド・ストコフスキーの指揮により、ニューヨーク・カーネギーホールにデビュー。その後、国内外で活発な演奏活動を展開、ベルリン・フィルをはじめ、世界各国の代表的なオーケストラと共演。指揮者もメータ、ロストロポーヴィッチ、ケンペ、サヴァリッシュ、マズア、小澤征爾ほか多彩なマエストロたちと共演。

最近では、ヴァイオリン音楽の原点ともいえるJ.S.バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、ブラームスなどの作品の研究と演奏にさらに力を注ぐ一方、珠玉の小品を中心とした心暖まるリサイタルも全国各地で行っている。

2004年、日本芸術院賞を受賞。

現在、東京芸術大学、大阪音楽大学で後進の指導にも当たっている。



吉住 典洋 (指揮) Conductor Norihiro Yoshizumi

愛媛県今治市生まれ。愛知県立芸術大学管打器楽コースを卒業、研究生を経て同大学大学院音楽研究科終了。サクソフォンを永岡嘉夫、雲井雅人、室内楽を菅原隆、中川良平、村田四郎、オーケストラ・レパートリーを中川良平の各氏に師事。同大学定期演奏会には、J.S.Bach/NakagawaのMarcello Concerto III BWV974のソリストとしてソプラノ・サクソフォンを演奏、好評を博した。よんでん文化振興財団奨学金を受賞。在学中より指揮者としての活動を開始、名古屋二期会において外山雄三氏のもとでアシスタントとしての研鑽を積む。以後「中川良平のTokyo BACH-BAND」、日生劇場オペラ名古屋公演など。佐藤功太郎、古谷誠一、松尾葉子、竹本泰蔵、現田茂夫、沼尻竜典各氏のアシスタントを歴任する。またその間も自らのタクトでオーケストラや合唱など数々の音楽愛好団体と共演、1998年からはセントラル愛知交響楽団、2000年から名フィルユニオンコンサートに出演する。

1999年、アシスタントとして入っていた名古屋市文化振興事業団主催「かるめん・じょんず」(原作G.Bizet:Carmen)の最終日公演において急遽指揮を命ぜられピット・デビュー、好評を博した。最近では春日井オペラ八百比丘尼物語初演を、アンサンブル・セルメールとStravinskyの兵士の物語を指揮するなど、意欲的な活動を見せている。

現在、愛知県立芸術大学、愛知県立明和高等学校音楽科各非常勤講師。

平成16年度 春日井市交響楽団役員及び特別職名簿

平成17年3月現在

■ 名誉会長	鶴飼 一郎	(春日井市長)	■ 理事	石原 一則	(尾張中央農協同組合高蔵寺地区事業本部代表理事)
■ 名誉副会長	友松 孝雄	(春日井市議会議長)	■ 理事	犬飼 武	(春日井中学校・春日井高等学校校長)
■ 名誉顧問	川口 将一	(春日井商工会議所名誉会頭)	■ 理事	伊藤 園子	(いとう幼稚園理事長)
■ 顧問	松本 重雄	(春日井市教育長)	■ 理事	伊藤 友彦	(尾張中央農協同組合春日井地区事業本部代表理事)
■ 顧問	川口 将二	(春日井商工会議所会頭)	■ 理事	伊藤 征士	(春日井けやきライオンズクラブ会長)
■ 顧問	佐々木 伊利子	(ピアニスト)	■ 理事	岩田 光義	(中部楽器技術専門学校理事長)
■ 顧問	杉谷 昭子	(ピアニスト)	■ 理事	上田 康平	(中日新聞春日井支局長)
■ 顧問	宮地 清恵	(春日井市助役)	■ 理事	梅田 英夫	(春日井ロータリークラブ会長)
■ 会長	三浦 昌夫	(中部大学学監)	■ 理事	清水 貴子	(「花の詩」コンサートグループ会長)
■ 副会長	石黒 東風	(春日井市文化協会会長)	■ 理事	高木 重則	(市内小中学校校長会長)
■ 副会長	富田 君子	(元春日井市教育委員)	■ 理事	峠 貴斗	(春日井青年会議所理事長)
■ 理事長	長縄 功	(発起人代表)	■ 理事	根本 正治	(春日井市民音楽連盟会長・春日井高等学校教諭)
■ 常任理事	荒川 昭	(春日井商工会議所専務理事)	■ 理事	長谷川 正和	(春日井中央ライオンズクラブ会長)
■ 常任理事	藤田 康幸	(春日井市企画調整部長)	■ 理事	日比 英一	(万博空港対策室長)
■ 常任理事	都築 正道	(音楽監督・中部大学教授)	■ 理事	山田 伊素子	(春日井第九合唱団団長)
■ 常任理事	下田 秋吉	(春日井建設協会会長・脚秋吉組代表取締役)	■ 理事	吉田 誠	(春日井市内県立校長会長)
■ 常任理事	花村 浩克	(団長・あさひ病院院長)	■ 理事	渡辺 茂	(市内金融協会会長・練UFJ銀行春日井支店長)
■ 常任理事	若月 剛一	(791土木(株)代表取締役)	■ 監事	木野瀬 吉孝	(木野瀬印刷製代表取締役)
■ 理事	相原 伸太郎	(春日井ライオンズクラブ会長)	■ 監事	東海林 昌治	(秋田県人会相談役・矢留工業製代表取締役会長)
■ 理事	荒川 昭代	(春日井第九合唱団顧問)			

(敬称略)